

# 小松島市千代小学校



## 1 学校の概要

- ① 児童数 186名
- ② めざす子ども像
  - (1) 生命と健康を大切にする子ども
  - (2) 元気に挨拶ができる子ども
  - (3) 話をよく聞き、よい言葉づかいができる子ども
- ③ 環境目標・テーマ
  - ～育てよう ふるさとを大切にする心、広げよう エコ活動～
    - ・自分たちの住む地域を美しく、緑豊かなふるさとを大切にしよう。
    - ・資源を大切にし、エネルギーの節約やリサイクルに努めよう。
    - ・森林や河川・海について学習し、環境保全に努めよう。

## 2 行動方針

- ① 学校における節電に努める。
- ② 校舎内外の美化とごみの分別を行う。
- ③ 学校におけるリサイクル活動を行う。
- ④ 環境について学習する。

## 3 行動

- ① 学校における節電に努める。



教室から出るときは電気を消す(電気係)



節電を意識させるシール

- ② 校舎内外の美化とごみの分別を行う。



千代丸クリーン（縦割り班活動）



学校全体でのごみの分別

③ 学校におけるリサイクル活動を行う。



保健委員会を中心としたペットボトルのふた回収



保護者から集まったアルミ缶

④ 環境について学習する。



海上保安庁の方による環境学習(4年)



校区内の川に住む生き物をさがす

4 具体的効果

◆ 学校における節電に努める。

- ・教室を出るときはこまめにスイッチを切る習慣がついてきた。
- ・職員室のエアコンは設定温度を決めて使っている。

◆ 校舎内外の美化とごみの分別を行う。

- ・縦割班活動は、異学年での交流ができ楽しい雰囲気在校舎外の美化ができた。活動の後は「学校がきれいになってうれしい」「また次もがんばろう」という声も聞こえた。

◆ 学校におけるリサイクル活動を行う。

- ・ペットボトルのふた収集は定着化しつつある。夏休み明けは特にたくさん集まった。

◆ 環境について学習する。

- ・環境教室では汚染度を調べるパックテスト等をし、地域の河川はどうだろうと調べる意欲づけになった。環境を守るために自分にできることは何かと考えるきっかけにもなった。

5 改善点

◆ 学校における節電に努める。

クラスによって節電意識の浸透は差があるので、生活運営委員会からの呼びかけを増やしていく。

◆ 校舎内外の美化とごみの分別を行う。

草がよく生える春から夏、落ち葉の多い秋は千代丸クリーン(縦割班活動)を増やす工夫をする。

◆ 学校におけるリサイクル活動を行う。

ペットボトルのふたと比べアルミ缶回収はもうひとつ意識が低いので、行事の案内の手紙に「アルミ缶を回収しています」と加えたら意識づけられる。

◆ 環境について学習する。

年間計画を見直し、総合的な学習の時間や生活の時間に本校独自の環境学習を位置づける。